

仕 様 書

- 1 品 名 新規採用職員用 制服一式
(別紙仕様書のとおり)
- ・制服上下
 - ・制帽
 - ・金属階級章(消防士)
 - ・黒革ベルト
 - ・ネクタイ
- 2 数 量 4式
- 3 納入期限 令和 8年 4月 3日(金)
- 4 納入場所 熱海市消防本部が指定する場所
- 5 その他 購入するサイズについては、契約後に消防本部と調整すること。

消防吏員用冬制服仕様書

熱海市消防本部

消防吏員用冬制服仕様書

1. 男子上衣

I. 上衣型式（背広型）の概要（図表1参照）

- (ア) 衿 折衿式 ピークラベル、衿巾9.0cm
- (イ) 身 頃 ダブルプレスレット 6つ釦2つ掛け、ノーベント
- (ウ) ポケット 胸ポケット—左に、箱ポケット
脇ポケット—左右に、両玉縁フラップポケット
内ポケット—4個
- (エ) 袖 筒袖、袖口にそで章を付ける。（そで章は金属とする）
- (オ) 身 返 し 一枚断ち（ハギ不可）
- (カ) 裏 総裏仕立て、背抜き仕立て

2. 材 料

区 分	仕 様	用 途
主 材 料	表地 日本毛織(綿) F-1109/サージ(紺) ウール100%	前身頃、後身頃、細腹見返し、 袖、上衿、ポケット
	裏 地 (綿)旭化成テキスタル 構成 ポリエステル100% 品番 6672	前身頃、後身頃裏 細腹裏、袖裏
副 材 料	接着芯 5546	前身頃、身返し
	増 芯 520	前身頃
	地衿芯 エラス400	地衿
	裏 衿 F80	裏衿
	袋 地 スレーキ	ポケット袋
	釦 21mm 東消型	フロント
	バツト S12	肩台
	テープ 8mm~10mm	袖付け廻り、衿ぐり、 ラベル返し線
	衿吊り 無 地	
片 布 指定品		

3. 条 件

I. 縫 い 糸

- (イ) 地縫い糸 絹糸又は合織糸
但し、オーバーロックは綿糸可

- (ロ) 釦付け糸 麻糸又は合繊糸
- (ハ) 穴 糸 絹糸又は合繊糸
- (ニ) まつり糸 絹糸又は合繊糸

II. 針 数 (3cm 間表面に表れた糸数)

- (イ) 地 縫 い 13 針以上
- (ロ) ま つ り 7 針以上
- (ハ) ル イ ス 6 針以上

III. 穴 かがり 穴の大きさは釦に合わせてかがり、かがり糸が布から抜けないように注意する。

IV. 釦 付 け

- (イ) 手付けの場合は、2 本糸にて一つの穴に 2 回以上とおし、寝巻きを 2 回以上し糸止めを完全にする。
- (ロ) 機械付けの場合は、手付けの糸量と同程度とする。

V. 裁 断

- (イ) 縦 裁 身頃前面、身返し、山袖、下袖、ポケット
- (ロ) 緯 裁 上衿表
- (ハ) 斜 裁 衿芯、裏衿 (カラークロス)
- (ニ) ハギ及びマチは一切不可

VI. 縫 い 代

- (イ) 背 中 央 2cm 以上
- (ロ) 脇 1cm 以上

VII. 折 り 代

- (イ) 袖 口 4cm 以上
- (ロ) 身 頃 裾 3cm 以上

VIII. 縫 製

- (イ) 各部の縫い合わせの上下糸につれたるみのないこと。
- (ロ) 縫い目とび、縫いはずれのないこと。
- (ハ) 縫い目まがりが目立たないこと。
- (ニ) 返し針は完全にする。
- (ホ) 必要な箇所に合印をいれポイント合わせには特に注意すること。

IX. 仕 上 げ

- (イ) 糸くず、汚れ等のないこと。
- (ロ) 完全なる仕上げプレスをするとともにプレス当たりが目立たないこと。

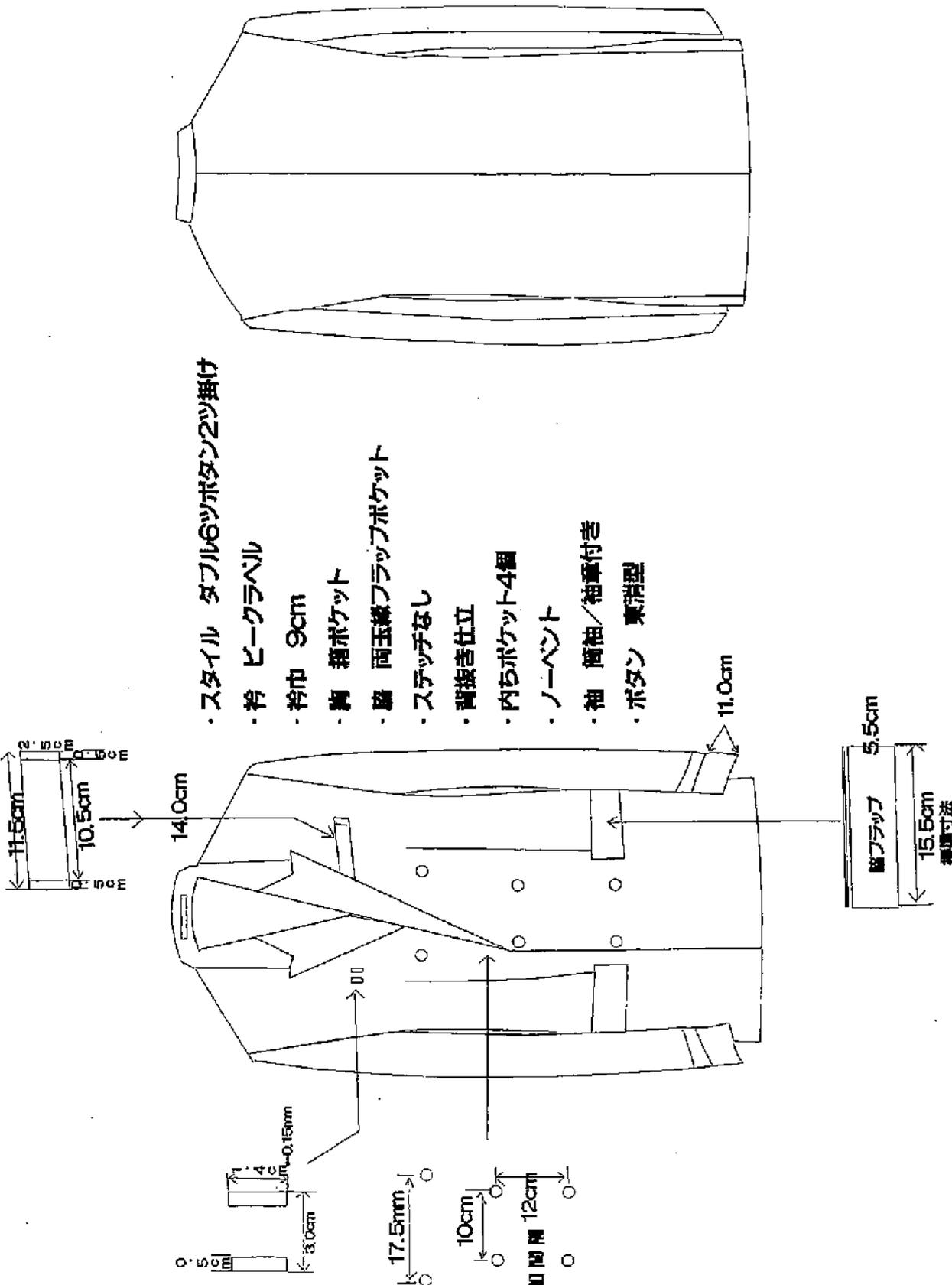
X. 寸法は別表通りとする

4. 縫 製

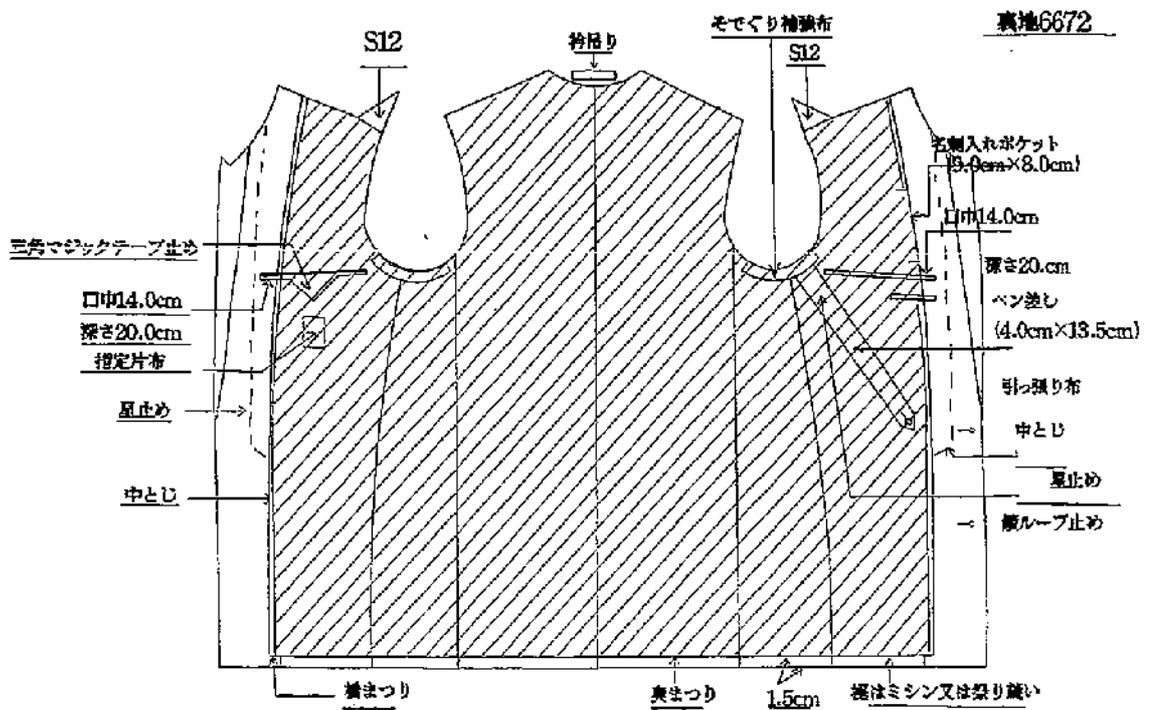
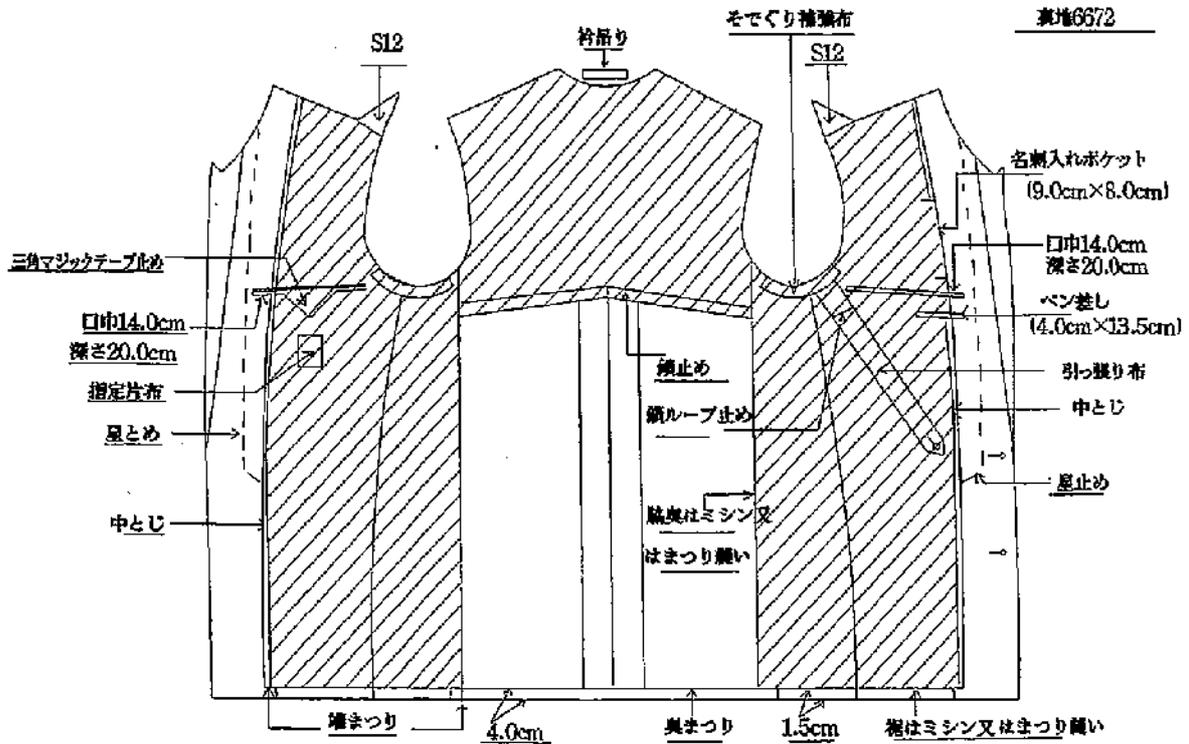
区 分	要 領
衿	裏衿は表生地と同系色のカラークロスを使用する。
前 身 頃	胸ダーツをとるダーツ縫いに際しては表に当たりが出ないようにする。 前身芯は前面接着芯を用い、胸のボリュームが十分出るようにクセとりをす るとともに型崩れが生じないように十分に注意すること。 全面接着芯は定められた最適の条件において接着を行うこととする。 (図表3参照)
ポケット	フラップ付とし、フラップには裏地を裏打ちし縫製する。 袋は、二条縫いとする。但し、太糸の場合は一条縫いでもよい。
袖	袖は、筒袖とし袖口にパイリーン芯を入れ表地の折り返しを手まつりで止め る。袖裏を筒縫いし縫い目を片倒して表生地と袖とじをする。袖ぐりに補 強布を付ける。袖口にはそで章を付ける。
身 返 し	裏地との縫い代部を芯にシツケ止め(中とじ)する。中とじはウエスト線よ り上は増芯に止め、ウエスト線より下は内ポケット袋地にからげる。又は両 面接着テープにて完全に止める。中とじをする際胸のボリュームを逃がさな いように注意すること。
後 身 頃	後身頃に肩甲骨のゆとりを付けるための十分な肩ぐせをとる。(ダーツ不可) 背縫いは表地を縫い割りとし断ち目を二つに折り、ミシン掛けとする。背裏 には背中央で1.0cm以上の着せを付け鎖止めをする。
ベ ン ト	無し
肩 縫 い	表地は縫い割りとし裏地はミシン片倒しとする。
肩台(パット)	芯と裏地の間にはさみこみミシン止めすると共に身頃の表裏をとじ付ける
袖 付 け	いせ込みむらをなくし、左右を正常に美しく無理のないようにつける。
裾	裾の折り代は3.0cm以上とし裏地は1.0cmの着せかけを付ける。
内ポケット	4個(上前、名詞入れ・ペン差し/下前、三角マジックテープ止め)
釦・釦穴	釦・釦穴の位置は各号数によりバランスの保つ位置に付けること。
衿吊り	衿腰の中央に無地の衿つりを付ける。
片布	下前内ポケット下に指定の片布を付ける。
バッチホール	上衿と下衿の切り替えの延長線上に菊穴であける。
階級章止め	下前胸部に、テープをミシン掛けとし二行に付ける。
その他	記載されていない箇所については検定見本及び別添図解による。又は当然行 わなければならない事項であれば良心的に対処すること。

区 分	要 領
ひ ざ 当 て	有り
ウ エ ス ト	腰裏・マーベルト等による表地のあまり、ねじれの無いこと。 腰線を美しく仕上げること。 マーベルトのまつりによるひびきの無いこと。
フ ァ ス ナ ー	ファスナー付けを完全にし、開き下部に閉止めを入れること。
ダ ー ツ	左右均等であること。 ダーツ処理を完全にすること。
針 目 数	運針数は 3cm 間の縫い数を表す。〈飾り加工縫いを除く〉 (1) 地縫い 13 針以上 薄地・その他の特殊素材の場合 10 針以上 (2) すくい縫い 5 針以上 (3) 環縫い 10 針以上 オーバーロックかがり縫い 7 針以上 インターロック縫い 10 針以上 (4) ベルト・ファスナー ウエストまつり 7 針以上 その他特殊な生地を使用した場合は、使用生地に適した運針数であること。
卸 付 け	手 付 け—2 本糸で 1 つの穴に 2 回以上 (生地共) とおし、根巻きは使用生地に適した回数 (2~4 回) とし、糸止めを完全にすること。但し、足付卸及び飾り卸の根巻きについては少量とするか根巻きはしない。 機械付け—手付けに準じた強度とし、糸止めを完全にすること。
穴 か が り	鳩目穴は別門付又は流れ止めとすること。
柄 合 わ せ	前面は上前・下前を合わせること。 後面は尻縫い左右を合わせること。 相引きはひざ部を合わせること。 脇ポケットは斜めの場合、向当て布は前身頃に合わせること。
ラ イ ン	前中心は地の目を通すこと。 後中心はひざ部より下は地の目を通すこと。 但し、特別のパターンについてはその限りではない。
縫 い 代	相引きは 0.8cm 以上 内股は 0.8cm 以上 尻上端は 3.0cm 以上 尻下端は 0.8cm 以上
裾	裾上げ付き。裾上げは、表にひびかないようにまつること。又、ミシンの縫いつれの無いこと。
そ の 他	記載されていない箇所については検定見本及び別添付図解による。又は、当然おこなわなければならない事項であれば良心的に対処することとする。

消防吏員冬制服上着仕様略図



消防吏員冬制服上着裏生地仕様略図



第4 補則

1 梱包と納品

1枚（本）ごとに上衣・ズボン共に収納する。

2 その他

検収後であっても、生地、付属品及び寸法等縫製上の欠陥が認められたときは、受注者の責任とし、無償で修理又は交換すること。

疑問点が生じたときは、必ず担当者と綿密に打ち合わせするとともに、仕様書記載以外の縫製にあっても、誠意をもってあたること。